

科 目 名	人間文化入門				科目コード	CB101	
英 文 名	First-Year Experience				科目区分	【共通教養科目】 基盤形成科目（必修）	
担当教員	太田和 良幸 他			教員コード	154	単 位 数	2単位
開講期間	前期	曜 日・時 限		水曜日・3時限		授業形態	講義
学位授与方針 との対応	◎	1.大学生としての幅広い教養を身につける		○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	○	3.論理的・批判的なものの見方を養う		○	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	○	5.学習の過程で発見した課題を探究する		○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	大学生の初年次教育として、本学で目指す教育目的・内容を明らかにする。 各回ごとに担当が違う”オムニバス形式”の講義となる。						
授業の狙い・ 到達目標	①大学で学ぶ学生として知識を探究する姿勢を身につけ、主体的に学ぶことができる。 ②個々の自己理解を確立し、本科目を大学教育の出発点として位置づけることができる。 ③各回の学習事項を吸収し、主体的な学びと高い学習意識の基礎を確立することができる。						
授業内容の レベル・関連科目	初年次教育であり、内容は基礎的なことがらである。しかし、基礎にこそ事物の本質がある。 1つ1つの講義を疎かにせず取り組むこと。関連科目は、本学が提供する全講義科目である。						
授業外学習 (予習・復習)	大学案内や履修案内・シラバスをしっかりと読み、 本学の教育体系を把握する。 今後の4年間でどのような学習になるのかを把握することが 予習・復習となる。					授業外学習に 必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	特になし。各担当教員より資料等が配布されることがある。						
参考書・ その他教材	・小玉幸永編『なでしこ八十一創立八十周年記念誌』愛国学園出版部(2019) ・その他、各担当教員より授業テーマにそって適宜配布する。						
課題に対する フィードバック	オムニバス形式であり、各回ごとに対応は異なる。担当の教員に指示に適切に従うこと。						
成績評価方法	・各回のリアクションペーパー(40%) ・授業への貢献度(30%)。 ・学外見学レポート(30%)						
成績評価基準	本学の学業成績判定に関する基準に照らし、評価する。						
履修上の 注意事項や 学習上の助言	本講義は大学生活を円滑にスタートさせるために不可欠な初年次教育科目であり、高い目的意識をもって本講義に臨むことを期待する。						
科目に関連した 教員の実務経験	特になし						
担当教員への 連絡方法	〔代表連絡先〕岡庭義行(okaniwa@aikoku-u.org) 〔教務連絡先〕学務課(gakumu@aikoku-u.org) 各回講義については、担当教員へ個別に連絡・相談すること(教員連絡先はWeb上に掲載する)						

授業スケジュール

人間文化入門

1 回	学習内容 予習 復習	〔大学論1〕 イントロダクション, 大学での学びや学生生活の特徴と意義 (太田和, 岡庭) 『履修案内』の単位制, 学内マナー, 学生生活の心得等に関する項目を精読し理解しておくこと。 講義内容を振り返り, 大学における学習の在り方についてさらに理解を深めること。
2 回	学習内容 予習 復習	〔大学論2〕 建学の精神と校訓 (太田和) 『履修案内』の建学の精神, 校訓, 教育目的等の項目を精読し理解しておくこと。 講義内容を振り返り, 4年間の学習目標と本学の学生として自身が大切にしたいことを定めること。
3 回	学習内容 予習 復習	〔大学論3〕 愛国学園の歴史 (中村) 愛国学園の歴史を調べ, 時代背景と創立の理念と願いについて理解しておくこと。 愛国学園の歴史を通して, 現在の私たちに求められていることを各自で考え整理すること。
4 回	学習内容 予習 復習	〔大学論4〕 創立者のことば (中村) 創立者・織田小三郎先生, 織田淑子先生が残された数々の貴重な言葉について調べておくこと。 創立者の言葉の意味や込められた願いを振り返り, 各自の学生生活において学びと実践を心がける。
5 回	学習内容 予習 復習	〔学びの体系化1〕 リベラルアーツでの学び② 学びを支える多様なリソース (佐久間) 学生が安全に安心して学ぶことができる学習環境とは何か, 自らの考えをまとめておくこと。 大学の施設・制度やそこに関わる多様な人々について理解を深め, 適切な利用と関わりを心がける。
6 回	学習内容 予習 復習	〔学習論1〕 ICTの理解, インターネット検索, 情報リテラシーの基礎等 (日坂) 「ICTシステム・機器利用の手引き 2021」を熟読して理解し, 質問をまとめておくこと。 講義中で指示する情報源より, 統計情報等を検索して入手, 保存, 管理, 提出する。
7 回	学習内容 予習 復習	〔学習論2〕 図書館における情報検索 大学図書館の利用 (図書館運営委員会) 事前に図書館を利用し, 大学図書館が公立図書館と異なる点を整理しておくこと。 大学図書館を活用して自身の学習活動を深め, 4年間の学修の成功に向けて取り組むこと。
8 回	学習内容 予習 復習	〔学習論3〕 ライフプランの作成と仕事を通じて形成されるキャリア (キャリア支援委員会) 現在, 興味のある職業について, その仕事内容と必要な資格などを調べておくこと。 講義内容について振り返り, 目標達成のための計画を実践していくこと。
9 回	学習内容 予習 復習	〔学習論4〕 日本語力の理論と実践 (清水) 日本語力とは何か, 日本語力を磨くにはどうしたらいいのかについて, 予め考えてくること。 講義や配布資料をヒントにして, 日本語力を磨くための具体的な方法を考え実践すること。
10 回	学習内容 予習 復習	〔学習論5〕 レポートスキル (山崎, 栗林) 文章がどのように書かれているかを学ぶために, 新聞記事を読んでおく。 授業で提示したテーマについて, パラグラフを立てる練習をする。
11 回	学習内容 予習 復習	〔大学論5〕 愛校心を育てるために (佐久間) 愛国学園大学の特徴や強み, 他大学にないものを探求しそれを伝える方法や工夫を考えておくこと。 愛国学園大学の特徴や強みを共有するために必要な取り組みを考え, 実践すること。
12 回	学習内容 予習 復習	〔学びの広がり1〕 千葉学, “ちば愛”を探究する (太田和, 中村, 原島) 愛国学園大学が在在する「千葉」について調べ, その歴史, 文化, 社会の特徴について調べておく。 千葉について理解を深め, “ちば愛”を育むことで, 大学で学んだ知識を地域社会で実質化させる。
13 回	学習内容 予習 復習	〔学びの広がり2〕 施設等における見学学習, アクティブ・ラーニング (太田和, 岡庭他) 地域理解と学びの実践をテーマとして, 学外施設の見学学習を行う予定である。 人間文化学を基軸とした各専攻に関連する地域施設を訪問して, 実践知識の総合化をはかる。 履修生数等により見学施設, 及び時期が変更する場合がある。詳細については講義中に指示する。 指示された施設の概要と活動について調べ, それまでの教室学習と接続させることに努めること。 社会活動に接続する学習領域を再確認し, 講義で学んだ知識を社会で活用できるように心がける。
14 回		
15 回	学習内容 予習 復習	〔学びの体系化2〕 リベラルアーツでの学び② 知の可能性とこれからの学び (太田和) 履修案内や大学案内を事前に確認し, 各専攻の特徴・教育の狙いを把握しておくこと。 講義内容を踏まえ, 各専攻のカリキュラム内容を理解し, 将来の専攻選択の参考とすること。